

第5回（平成27年度）苫小牧市スポーツ推進審議会 議事録

日 時	平成27年12月22日（火） 18:00～19:00
場 所	市役所5階 第2応接室
出席委員	岩井委員、大村委員、斎野委員、島崎委員、須藤委員、田中委員、長岡委員、 中村委員、本間委員、前田委員、丸山委員 (敬称略、五十音順)
事 務 局	総合政策部 スポーツ推進室
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 総合政策部長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 「苫小牧市スポーツ推進計画（案）」について 【資料1】</p> <p style="padding-left: 2em;">ア <第5章> 計画の実現に向けて</p> <p style="padding-left: 2em;">イ <資料編></p> <p>(2) 推進計画のテーマ（字体）について</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 新ときわスケートセンター騒音問題について</p> <p>(2) スポーツ都市宣言50周年事業について 【資料2】</p> <p>5 閉会</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>定刻となりました。委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>ただいまから「第5回 苫小牧市スポーツ推進審議会」を開催いたします。</p> <p>はじめに部長挨拶ですが、他の公務があり欠席させていただきます。</p> <p>ここで会議の成立についてご報告いたします。</p> <p>本日は、委員12人中、11人が出席されております。過半数以上の出席でございますので、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、これより議事に入らせていただきますが、審議会条例の第4条第3項に従いまして、丸山会長に議長をお願いいたします。</p> <p>丸山会長、お願いします。</p>
丸山会長	<p>では、ここから私が進行をさせていただきます。早速ですが、次第3の議事に入ります。(1)「苫小牧市スポーツ推進計画(案)」ア<第5章>計画の実現に向けてイ<資料編>について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>前回の第4回審議会で推進計画の<第3章>計画の基本的な考え方と、<第4章>施策と主な事業展開についてご審議いただきましたが、本日は<第5章>計画の実現に向けて、<資料編>について、ご審議していただきたいと考えておりますのでよろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、お手元の資料1に沿って説明させていただきます。</p> <p><第5章>計画の実現に向けてについてですが、1つ目が、期待される役割として、行政、スポーツ関連団体、市民、企業、トップチームの役割について記載しています。</p> <p>はじめに、行政の役割についてですが、計画の基本理念であります「活みなぎる『スポーツ都市』とまこまい」を実現するために、施設や資金と人材・組織等を有効に活用すること、関係団体や関係部署と連携を密にし横断的な施策を展開していくことを記載しています。また、園児・児童・生徒が生涯にわたってスポーツに親しむことができるように、体育に関する指導の充実、運動機会を確保すること、さらに、学校体育施設の開放を促進して、地域住民の身</p>

事務局	<p>近なスポーツ活動の場として協力することを記載しています。</p> <p>次に、スポーツ関連団体についてですが、苫小牧市体育協会は本市を代表する団体として、各種スポーツ大会や教室を開催しスポーツへの参加機会を提供することや、市民の健康増進とスポーツの楽しさを実感できる機会を充実すること、各種競技団体と連携を図りスポーツ人口の拡大につながる活動を実施する役割を担うことを記載しています。</p> <p>また、スポーツ推進委員について、スポーツ指導者としての指導力を向上させるための研修を実施して、知識や技術の習得に努めることと、地域のスポーツリーダーとして行政と市民との調整役となり、市民のスポーツ参加への動機付けを行う役割が期待されることを記載しています。</p> <p>次に、市民についてですが、スポーツ活動に積極的に参加することで、個人の健康・体力の向上、スポーツへの関心や興味も高まり、地域スポーツ活動の原動力となることを記載し、また、スポーツを「する人」、「観る人」、「支える人」として主体的に行動することで、スポーツを通じた市民同士の交流が促進されるなど、地域コミュニティの再生も期待できることを記載しています。</p> <p>次に、企業についてですが、地域の活性化を図るため、スポーツを積極的に活用してイベント等において新たなサービスの開発等を行い経済に潤いをもたらすことが期待されることを記載し、また、社員がスポーツ活動を積極的に行えるような職場環境の整備や、保有するスポーツ施設の地域への開放など、地域に密着した活動を行っていくことを期待すること、民間のスポーツクラブでは行政や地域では補えないスポーツに関するサービスの提供や、スポーツを楽しむための各種スポーツイベントの協力等が期待されることを記載しています。</p> <p>次に、トップチームについてですが、苫小牧を拠点として活躍しているチームは、市民との交流や地域イベントへの参加等、地域と密着した活動を通じて、スポーツへの関心を高め「観る」スポーツの機会を提供し、市民に感動を与えることが期待されることを記載しています。</p> <p>2つ目、計画の進行管理と見直しについてですが、計画の推進に当たって、効率的かつ効果的に遂行されるように進行管理、見直しを次のように行っていくことを考えています。</p> <p>1つ目は、市民等との協働による事業推進ということで、目標や方針を着実に推進するために、施策や事業の実施について情報発信をして市民・スポーツ団体・企業等と協働で計画を推進していきます。</p> <p>2つ目は、庁内連携による事業の推進ということで、庁内の関係部署と連携・調整を行いながら、総合的で効率的かつ効果的な事業の推進を図っていきます。</p>
-----	--

事務局	<p>3つ目は、計画の進行管理ということで、先日立ち上げました関係部署で構成する苫小牧市スポーツ推進庁内検討委員会において、各種施策・事業の実施状況について点検・評価を行い、事業の進行管理を行っていきます。</p> <p>4つ目は、苫小牧市スポーツ推進審議会への進捗状況報告ということで、スポーツ推進庁内検討委員会で点検・評価を行った結果について、審議会に報告し市のホームページ等を通じて公表していきます。</p> <p>5つ目は、この計画の進捗状況や社会経済情勢、国の政策動向等の変化に対応するために、中間年で見直しを行うことで考えています。</p> <p>続きまして、＜資料編＞についてご説明いたします。</p> <p>資料編では、4つの項目を記載しています。</p> <p>1つ目が、実態調査集計結果の中で推進計画本文中に掲載したもの以外を掲載しています。丸山委員長から以前ご意見をいただいた年代別集計数値をここで掲載しています。</p> <p>2つ目に、苫小牧市スポーツ推進審議会条例、3つ目に審議会の委員名簿、4つ目に審議会等の審議経過について掲載して占めくりになります。</p> <p>本日の資料は、第1章からつけていますが、先日、スポーツ推進庁内検討委員会を開催しまして、これまで審議会で審議した推進計画について示して検討いたしました。</p> <p>担当部署の目から見ていただいた中で、いくつかの意見や要望がありましたので、現在精査しているところです。来月には、スポーツ基本法の第10条の2で教育委員会の意見を聞かなければならないと規定されていることから、教育委員会に精査した推進計画をお示しして意見を伺う予定としております。</p> <p>各委員会で出ました意見を精査しまして、次回の審議会で推進計画全体を通して委員の皆様にご審議いただきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。</p>
丸山会長	<p>＜第5章＞計画の実現に向けて、＜資料編＞について、説明がありましたが、ご質問等はございますか。</p>
大村委員	<p>42ページの「2スポーツ関連団体」についてですが、スポーツ推進委員は、スポーツ指導者としての指導力を向上させるために研修を実施するとありますが、これに「障がいを持った方たちへのスポーツの指導」の内容についても付け加えていただきたい。</p> <p>障がい者を取りまく、スポーツ指導者については初級、中級、上級とあるが、自治体レベルでは「初級」までは押さえていただきたい。指導者の部分はまだまだ遅れている部分だと思うので、ご検討いただきたい。</p>

事務局	今後、検討させていただきたいと思います。
須藤委員	<p>42ページ、「2 スポーツ関連団体」「3 市民」の表現の仕方についてですが、題名が「期待される役割」とされているのに対し、<u>役割が期待されます</u>といった表現が多くでてくるが、違和感を感じるので修正したほうがよい。期待しますなど断言しても良い部分があるので、修正を検討いただきたい。</p> <p>「苫小牧市スポーツ推進庁内検討委員会」といきなり出てきたが、これはどういう組織でどういったものなのかよくわからないのもう少し明示したほうが良いのではないか。</p>
事務局	<p>42ページ「期待される役割」の表現については、ご指摘のとおり修正させていただきます。</p> <p>庁内検討委員会については、推進計画の内容について、庁内の他部署にも関係していくことから、総合的に判断していく場となっております。</p> <p>先日14日に開催した庁内検討委員会で、既に審議会で審議いたしました「第1章」～「第4章」までを提示させていただきました。今後、記載の仕方についても検討してまいりたいと思います。</p>
丸山会長	<p>1つ目に43ページ、「4 企業」についてですが、保有するスポーツ施設の地域への開放などとあるが現時点でなにか具体策案はあるのか。</p> <p>2つ目に同じく43ページ「5 トップチーム」の部分ですが、具体的なチーム名などを記載してはダメなのか。</p>
事務局	<p>企業が保有するスポーツ施設の開放の具体案については、現在検討中です。</p> <p>「5 トップチーム」の記載については、主に王子イーグルスのことを差しているかと思いますが、今後トップチームとして、他チームも記載しなくてはいけない場合を想定して「トップチーム」という表現にしております。</p>
丸山会長	<p>他にないようですので、次の議題に進みます。</p> <p>それでは、(2) 推進計画テーマ(字体)について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	前回の審議会で、テーマの字体について議論しておりましたので、本日テ

事務局	<p>マをどの字体にするか決定したいと思います。</p> <p>事前にお示ししていましたが 10 候補のうち、現在皆様のご意見を集計したところ、⑧の「創英角ポップ体」に最も多く票が入っていますが、こちらで決定してよろしいでしょうか。</p>
全体	異議なし。
丸山会長	<p>続いて、次第4その他の（1）新ときわスケートセンターの騒音問題について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>新ときわスケートセンターの騒音問題につきまして、防音改修工事が完了しましたので、概要について説明させていただきます。</p> <p>9月の定例市議会に補正予算を提出して、9月25日から11月13日まで防音改修工事を行いました。工事の内容につきましては、建物外壁面の内側への石膏ボード、遮音シート等による防音壁の設置、給排気口への消音器の設置、出入り口のドアへの防音措置等となっております。また、工事に行った騒音測定の結果を受け、万全を期すためにフェンス裏側へも防音マットを貼る等の対策を取りました。</p> <p>近隣住民には工事完了後に説明を行い、一定の効果があつたことを確認できたことから11月14日から夜10時までの営業を開始しております。</p> <p>さらに、営業再開後半月が経過した時点で、再度近隣住民に効果について確認しまして、早朝と深夜の利用開始についても了承いただいております。</p> <p>今回の12月議会においても、防音工事について報告しまして、早朝と深夜の利用についても再開することを報告しております。</p>
丸山会長	<p>新ときわスケートセンターの騒音問題について説明がありましたが、この件に関してご質問等はございますか。</p> <p>私から1つ質問があります。</p> <p>今後、定期的に測定をしていくようなことは予定しているのか。</p>
事務局	<p>工事の結果については、施工後実施した騒音測定結果からも基準内に収まっており、近隣住民からも騒音問題が改善されたとお声をいただいておりますので、特に定期測定の予定はなく、今後も引き続き様子をみていく形になります。</p>
丸山会長	ありがとうございます。

丸山会長	引き続き、(2) スポーツ都市宣言 50 周年事業について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	<p>前回の審議会では、50 周年事業についてのコンセプト、事業の大枠について説明させていただきました。本日は、資料 2 のとおり、現在決定している事業について説明させていただきます。</p> <p>事業については、資料 2 のとおり「する人」、「観る人」、「支える人」といった観点から進めてまいります。</p> <p>「する人」という点では、市民参加型のイベント「50 周年記念運動会 (案)」や、より多くの施設を市民に知ってもらいたいということで、「スポーツ施設スタンプラリー」を企画しております。</p> <p>「観る人」という点では、現在改修中の「とましんスタジアム」にて、北海道日本ハムファイターズイースタンリーグ公式戦、著名人をゲストに呼んだ 50 周年記念式典、女子バスケット W リーグの開催やジャパンアイススレッジホッケーチャンピオンシップ、第 89 回日本学生氷上競技選手権大会を予定しています。</p> <p>「支える人」という点では、スポーツ推進委員が中心となる第 58 回北海道スポーツ推進委員研究協議会を苫小牧で開催、スポーツフォトコンテストなどを予定しております。</p> <p>2 ページ目には、他部署と連携する事業を予定しております。スポーツ×ふくしということで障がい者スポーツイベント、スポーツ×芸術ということで宣言日となる 11 月 12 日から 2 ヶ月程度、博物館にて「スポーツ美術展」を開催する予定となっております。</p> <p>広告宣伝関連については、懸垂幕や横断幕、ポスター、記念品としてクリアファイルや缶バッジ作成などを予定しております。</p>
丸山会長	50 周年記念事業について説明がありましたが、この件に関してご質問等がございますか。
本間委員	インカレについては、開催期日は決まっているのか。
事務局	平成 29 年 1 月 5 日 (木) ～1 月 9 日 (月) 成人式までの期間となっております。
齋野委員	私からも 2 点意見があります。

齋野委員	<p>1 つ目に、スポーツ都市宣言 30 周年の際に、今の白鳥王子アイスアリーナが完成した。来年で、白鳥王子アイスアリーナも 20 周年ということで、50 周年記念事業と合わせて何かできないものだろうか。</p> <p>2 つ目に、現在、商業観光課では次年度より「苫小牧市観光振興ビジョン」というものを打ち出していくことになっているが、その中に「アスリートフードマイスター」についての取組み、研修なども入れていく。これは、現在力を入れている各スポーツ合宿誘致にも繋がる取組みであり、是非力を合わせて実施していきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>白鳥王子アイスアリーナの記念事業については、事務局としても何か取り組んでいきたいと考えており、現在交渉部分も含めて調整中となっております。</p> <p>「アスリートフードマイスター」については、現在担当者レベルで話は進めており、「アスリートフードマイスター監修のアスリート用弁当の開発」など商業観光課と連携して進めていきたいと思っております。</p>
齋野委員	<p>直近で、アスリートフードマイスターの資格を取得した佐藤氏の話もあり、押し出していけば合宿誘致を推進していく苫小牧の強みになると思います。</p>
大村委員	<p>ジャパンアイススレッジホッケーチャンピオンシップの件ですが、先日協会の方ともお話しした中で、新ときわスケートセンターで実施することになっておりますが、4 カ国のチームがくることもあり、白鳥王子アイスアリーナで実施できないかという要望がありました。</p> <p>ちなみに白鳥王子アイスアリーナで実施ということになりますと、アイススレッジ用にペナルティボックスの改修等の必要が出てきます。</p>
事務局	<p>開催場所については、競技特性からも会場の仕様が非常に重要になってくるかと思えます。今後、協会、施設側、関係団体とも調整を進めていきたいと考えております。</p>
長岡委員	<p>スポーツフォトコンテストについて、詳細を教えてください。</p>
事務局	<p>支える人（育てる人）の取組みの 1 つと考えており、市民が撮影したフォトコンテストを実施しようと考えております。スポーツをしない人も、スポーツに携わる機会を増やしたいと考えております。</p>

長岡委員	<p>その内容ですと、「支える人」というよりは、「観る人」の要素が大きいと感じます。</p> <p>実際に支える人というのは、記載されているスポーツ推進委員の他にも、スポーツボランティアさんがいらっしゃると思います。そういったスポーツボランティアさんにも踏み込んだ取り組み、事業があってもいいのかと個人的には感じます。</p>
事務局	<p>今後、検討してまいりたいと思います。委員の皆様からもこの点について今後何かあれば、事務局までお願いいたします。</p>
丸山会長	<p>それでは他に無いようですので、本日の全体を通して皆様から何かご意見、ご質問はありますでしょうか。</p>
須藤委員	<p>今回で第1章～第5章の全体の審議が終わった中での感想の1つとして捉えてほしいが、今回のこの推進計画の中に「スポーツ少年団」についての記載、今後の方向性などは載せなくてもよいものなのだろうか。確かに「スポーツ少年団」については、体育協会が取りまとめていることもあり、市との関係性はそんなに強くはないかもしれないが、子どものスポーツ機会の創出という点からも重要な事項かと思う。</p> <p>全体的な流れとして、スポーツ指導者が減少している昨今の状況からも、指導者を指導する認定指導員を増やしていくことも念頭においている。</p>
事務局	<p>「スポーツ少年団」の部分については、より子どものスポーツ機会を増やしていく、具体的な施策の部分に繋がっていくのかと感じます。子どものスポーツという点では他に、「総合型地域スポーツクラブ」などを現在国でも推進しているところです。</p> <p>他市の推進計画も参考にしながら進めておりますが、今後この部分の記載についても確認していきたいと思います。</p>
島崎委員	<p>「スポーツ少年団」というのはスポーツ全体から見ても末端の組織であり、定義として0歳～19歳とされているが、実際は小学校を卒業した時点で卒団する形が多い。そこからの体育組織としては、中体連、高体連が存在している。現在、国が打ち出している「スポーツ立国戦略」の中にも、幼少期からの「一貫性指導」境目のないスポーツ指導が必要とうたっており、「総合型地域スポーツクラブ」の中に「スポーツ少年団」があることが理想といった考え方が出てきている。</p>

島崎委員	<p>また、今の子ども達は言われたことはやるが、自分で何をしたらわからない子ども達が多い。3つの指針にもあります、「支える人」の中に、どんなスポーツがこの子に向いているかなどを指導することのできる「見出す人」といった要素を含む指導者が現在必要になっているのかなとも感じる。</p> <p>指導者数についても、現在、指導者（認定員）を育成する指導員（認定育成員）も胆振管内で3人程しかおらず、この部分の施策も急務となっている。</p> <p>昨今のこういった状況からも、子ども達のスポーツ機会のあり方については、苫小牧市でもよく考えていく必要があります、推進計画内にも少しでも盛り込んでいく必要があると感じている。</p>
事務局	<p>「スポーツ少年団」など、子ども達を取り巻くスポーツ環境の変化・施策についての記載について、今後事務局で検討していきたいと思えます。</p>
丸山会長	<p>私からも最後に1つ意見ですが、他部署との共催事業については、「食」、「高齢者」、「福祉」など、スポーツと関わる事業は多岐に渡っていくと感じます。</p> <p>是非、縦割りの仕事ではなく、市全体を巻き込んだ50周年事業にしていただきたいと思いますと考えていますので、よろしく願いいたします。</p> <p>他に無いようでしたら、これで終了させていただきます。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しいたします。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>丸山会長、ありがとうございました。</p> <p>次回の審議会は2月を予定しております。詳細につきましては、あらためてご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、これをもちまして「第5回 苫小牧市スポーツ推進審議会」を閉会いたします。</p>

－ 終 了 －